



50th



三ツ境通信

(みつきょう つうしん)

令和3年度 校長室だより

第6号 R3. 10. 8

災害時の備え ～避難訓練～

10月7日の夜に地震があり、神奈川県内でも大きな揺れを感じました。地震で目が覚めてしまった子どもたちもいたようです。

その10日ほど前、9月27日に実施した避難訓練では、地震でエレベーターが使用できなくなった想定で、肢体不自由教育部門の児童生徒の階段避難を含めた訓練を実施したところでした。消防署の方によると、大きな災害の時は消防車がかけつけるまでに通常時より多くの時間がかかることも予想されるため、階段を使った避難訓練は意義あることだと教えていただきました。

一人ひとりの状態に応じた避難方法を考え、子どもたちと共に実践すると、たとえば手足が動きやすい子どもや階段を使うことを不安に思う子どもへの配慮や、装具や車椅子の扱い方の工夫などがわかってきます。安全に抱きかかえて階段を下りられるような、防災のためのグッズの使い方も経験を重ねることで学習できます。職員の応援体制や動きも身についてきます。

また今回、知的障害教育部門の生徒たちは学年を縦割りにしたグループで、作業の時間でした。避難や人員確認の時には、先生たちの指示をよく聞いて避難ができ、全校児童生徒の避難と安否確認の間、落ち着いて待つことができました。生徒たちがふだんから指示を聞く姿勢や態度を身に付けていたことで、安全に全校児童生徒の迅速な避難ができたと感じています。

また今回は保護者の方にも訓練の様子を見学していただきました。コロナ禍のためPTA委員の方限定でしたが、今後の訓練では多くの方にご参加いただき、共に防災について考えていく機会をつくれたらと思っています。

頭で想像するのと実際に経験するのとは違い、様々な改善点や課題がわかってきます。職員にとっても児童生徒にとっても、経験することはとても大事です。いろいろな想定をして丁寧に訓練を重ね、見通しをもっておけると、いざという時に慌てず冷静な判断や行動につながります。今後も最新情報をもとに、防災教育を児童生徒の学習に位置付けていきたいと思ひます。

創立50周年記念座談会

創立50周年の今年、卒業生と在校生による「座談会」を開催しました。新型コロナウイルス対策感染拡大防止のため人数を限定しての募集でしたが、参加してくれた卒業生たちは久しぶりに元気な姿を見せてくれ、在校生への力強いメッセージとエールを送ってくれました。

当日の様子が瀬谷区タウンニュース(9月2日号)に掲載されました。校長室前にも掲示しています。機会があればぜひご覧ください。

体育館は楽しい!

本校の第一棟と体育館の工事が終了し、2学期から体育館を使った授業が再開しました。

距離をあけられる広い空間、車椅子で自由に動き回れる空間で、児童生徒たちはのびのびと活動しています。

体育など体を動かす活動をはじめ、音楽、学年活動、自立活動など様々な授業が展開されていて、元気な声が聞こえてきます。児童生徒のがんばる様子がこれからもたくさん見られる場所が戻ってきて嬉しく思っています。